

平成 30 年 3 月 2 日

## 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク 運営委員会議事録（3 月期）

### 【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、片桐、木村、葉木、若笠、事務局天寺  
沢野推進委員会委員長、オブザーバー：森村

#### 1. 濱田代表理事 挨拶

2 月 9 日から 13 日にかけて九州北部豪雨で被害を受けた朝倉市の仮設住宅へ元気を届けにたい焼き支援を行ってきた。報道されていないが、町の状況が被害を受けた時のまま全く換わっていない印象を受けた。家が土砂に半分埋まったままの状態。公費解体が進んでいない状況。話しを聞くと、解体業者が、熊本や東京オリンピックの建設などで、他に流れてしまっているようだ。ただ、仮設住宅は、以前のプレハブの仮設住宅に比べると木造で改善されている印象を受けた。しかし、居住空間は狭いため、大所帯の家族が多い朝倉市では、高齢の父母が仮設に住み、若い夫婦はみなし仮設に移って生活するため仮設住宅は高齢者ばかりが集まっている状況だった。また、朝倉市は柿の産地でもあったが、被害が大きく復興には程遠い状況。今後の町の再建が心配になった。今回の支援では、報道されていない事実が沢山有り、その一面を垣間見ることができた。

#### 2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

添付資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

#### 3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

添付資料「運営委員会議事」のとおり。

- 3/24（土）第 5 回定時社員総会には、12 時 30 分集合。運営委員は受付・会場内誘導等。制服持参のこと。
- 理事・監事候補者の立候補届けが整い、選挙管理委員会に提出された。また、運営委員の推薦書類も整った。総会場で承認を受ける手続きとなる。
- 2017 年事業報告書・2017 年活動年表、収支決算書の説明が行われた。
- 2018 年活動の予定表案が示され、年間の大まかなスケジュールを決定した。
- B 会員については、理事会で別途内規を作成する。

#### 4. 各地域の活動報告

##### 千葉県ネット（片桐）

- 3/2 千葉県災害 VC 運営マニュアル策定部会が行われている。県災害 VC の役割などについてルール作りをしている。
- 3/22 千葉県災害 VC 連絡会の会議が予定されている。

### 野田・流山ネット（岡部）

- 2/21 災害 VC リーダースキルアップ講座が流山社協主催で行われた。講師として船橋ネットの片桐 SL と平田 SL が指導。ワークショップと実働訓練を実施した。参加者は 20 名。会場の地域福祉センター 4 階は、実際には福祉避難所になる場所のため、実際に災害 VC を立ち上げる場所の選定を検討するように申し入れた。またボランティアリーダーを取り込んで災害 VC 運営をするためには、リーダーの集まる機会や、資器材をそろえることなどが必要となる。今後も提案を行っていききたい。

### 船橋ネット（片桐）

- 3/3 船橋市・三井不動産・プラスアーツが共催の防災スタンプラリーが東京 Bay ららぽーとで実施される。船橋ネットもブースを設け、展示啓発活動を行う。
- 3/14 船橋ネット総会
- 3/24 やさしい日本語講座を国際交流協会で行う。

### 湘南ネット（葉木）

- 2/13 湘南ネット総会と要配慮者避難所部屋分け第 2 弾訓練を行った。
- 災害時のトイレについて研修・講演会の開催を企画したが、講演料が高く断念した。地域ネットでは予算を立てられない企画を社団 SL ネット理事会で予算をつけ実施して欲しい。2018 年事業として調整していく。
- 東京くらし防災を入手した
- 米国海軍病院船マーシーの一般見学会が予定されている 参加可能か問い合わせる。

### ざまネット（濱田）

- 2 月やなせ幼稚園での防災講座。この幼稚園は防災教育を募集の売りにしている園
- 2/14 座間市防災会議に出席。相模川ハザードマップが改正される。
- 3/6 子育てフェスタ 10 キロの荷物を持って子どもをつれて避難の疑似体験
- 3/11 災害 VC 開設訓練を実施。
- 3/16 座間市いっせい防災行動訓練シェイクアウト実施報告会として座間市防災講演を行う。講師は中林先生。

### 埼玉県ネット（若笠）

- 2/2,3 杉戸町協働型訓練に参加。

1 日目は、東日本大震災で避難を余儀なくされた時の事例発表から心に残った事例。福島県富岡町町長が原発事故後、最後の防災無線の挨拶「これから避難を開始します。またいつか会えることを期待します」。

埼玉県には福島から避難している方が大勢居る。その内の一人の方が言った言葉「もう福島には帰れません。埼玉を第二のふるさととして、皆さんの支援を受けて暮らしていく覚悟です」。それぞれの心のうちを思うと居たたまれない。

東日本大震災で避難所を回った防衛庁医科大の医師の言葉「何か困りごとはありませんか」と問いかけても「何もありません」と返ってくる。夜、気になって巡回していると避難所体育館の片隅で自閉症の子どもを口を抑えむせび泣く母親がいた。「なんでもない」は何かある。「聞こえない声を聞け」を心に刻んだ。

2 日目は、ICS 理論を取り入れた民間ボランティア訓練を実施した。

**【次回の開催日】** 通常第1金曜開催だが、4月・5月は変則開催。  
2018年4月3日(火)13時30分～新メンバーによる運営委員会  
4月3日(火)10時00分～新理事会(理事・監事対象)  
5月8日(火)13時30分～運営委員会・理事会は無し

**2018年2月の事業報告と今後の予定 (2.2 3.2)**  
(3月2日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

- ・ 7年目の3.11 とシェイクアウトふくしま
- ・ 東日本大震災と「防災教育事業」と今後の重要性
- ・ 首都直下地震対策～真剣に考えるべき地震火災からの避難～
- ・ 今後の焦点は、大規模災害時の現場リーダーの質向上

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

日時	震央	M	深さ	最大	地域
----	----	---	----	----	----

イ 風水害(内閣府または消防庁災害情報掲載を主に対象)

2月4日からの大雪等の被害状況

福井記録的大雪 2/5～

ウ 事故等

2/5 16:36 自衛隊ヘリ民家に墜落 佐賀県神埼市

エ 火山等 噴火警戒レベル

1/30 蔵王山 2へ引き上げ

2/20 霧島・硫黄山 2へ引き上げ

3/1 霧島・新燃岳 噴火

海外 ア 地震(USGC 発表、日付 UTC、Mw7 以上又は報道等で犠牲者多数)

日時	UTC	震央	M	深さ	国	死者
----	-----	----	---	----	---	----

2/6 1550 花蓮 6.4 17 km 台湾 17人 当局

2/16 2339 オアハカ州 7.2 37 km メキシコ視察ヘリ墜落地上 13人死亡

イ 火山

1/31 ポポカテペトル火山噴火 メキシコ

ウ 風水害

エ 事故等

オ テロ等(公安調査庁世界のテロ等発生状況等より)

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府][消防庁][気象庁][文部省]

イ 自治体

・ 2/16 東京都 「東京くらし防災」公表 3/1 からダウンロード開始

ウ 東日本大震災

・ 2/13 復興庁 避難・転居者数 7万3349人 前月比 - 1,857人

オ 防災訓練等

1-4 災害ボランティア等の動き

## 1-5 注目すべきメディアと書籍等

## ア TV [NHK]

- ・3/4 死角 河川を遡る津波
- ・3/7 被曝の森 2018 見えてきた「汚染循環」
- ・3/10 誰にも言えなかった～被災地の子どもたち7年の葛藤～
- ・3/11 目指した「復興」はいま～震災7年 町は 暮らしは
- ・3/17 AI 徹底分析 原発事故全記録

## イ 書籍

## 2、この間の主な活動と今後の予定

## 2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

## A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 9910 人 公認講座 2,230 人\* 計 12,140 人

## イ 本部主催の S L 養成事業

- ・首都圏 105 期・立教大学講座 2/24-3/3-10
- ・神奈川 66 期 相模原県央講座 3/6-7

## ウ 大学等受託の S L 養成事業

- ・富山大学講座 2/19-20-21 大学の正規講座

## B、防災 / 減災啓発推進事業

## C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

## ア 会議行事等

- ・[予定] 3/24 社団総会
- ・[事務] 会費納入と役員承認

## 2-2 総合的な防災事業

## A、シェイクアウト事業（防災訓練事業）

ア 到達点 2017 年 国内累計約 667 万人

イ 終了 2/16 福島県 16 万人

ウ 予定 3/9 1000 千代田区シェイクアウト

## B、防災教育推進事業

## ア 防災教育チャレンジプラン・内閣府共催事業

- ・[報告]2/17 最終報告会

## イ 防災教育普及協会事業

- ・[報告]2/18 防災教育指導者育成セミナー 東大地震研

## ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地] 学校での防災教育支援

## C、防災研究事業

- ・[報告]3/01 1100 経団連会館 for R 成果報告会

## 3、事務局等

## A、広報

S L レター 2 月 25 日発行

以上

## 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

## 3月2日運営委員会 議事

## 1. 理事会報告事項

## 1.1. 各県の活動報告会における理事候補者および運営委員選出について

理事候補者（定数 6 名）

埼玉県地区から若笠 SL

千葉県地区から片桐 SL、古池 SL

神奈川県地区から濱田 SL、一政 SL

理事会推薦として天寺

監事候補者（定数 2 名）

沼野 SL（千葉県）・水島 SL（神奈川県）

次期運営委員

埼玉県地区 = 高木 SL

千葉県地区 = 岡部 SL・木村 SL

神奈川県地区 = 石丸 SL・佐藤 SL

運営委員会推薦（地域調整枠） = 葉木 SL

## 1.2. 第 5 回定時社員総会議案

- 添付資料\_2017 年（平成 29 年）事業報告書・2017 年活動年表（運営委員報告分）
- 添付資料\_「貸借対照表」「正味財産増減計算書内訳表」「財産目録内訳表」決算書類の一部

## 1.3. 2018 年事業内容の確認

- 2018 年活動予定表
- SL 企画セミナーの提案など

## 1.4. B 会員についての検討

- 前回報告した B 会員加入希望者については本人から連絡があり取り下げとなった。
- B 会員については、今後理事会で別途内規を作る

## 2 次回運営委員会（新体制）

2018 年 4 月 3 日(火) 13:30 ~ 16:00

新メンバーによる理事会 10:00 ~ 12:00

以上